

他の自治体を牽引する中野区 次世代DXを戦略的に進めよ

立憲・国民ネット・無所属議員 杉山 司



中野区としてのDX1・0は業務インフラや区民サービスの整備、DX2・0はデジタルプロモーションなどで自治体のファンを増やすこと、DX3・0は既に実現したDX関連の考え方やシステムなどを他の自治体に展開していくことだと捉えている。①DX1・0完成後の新庁舎において、人の動線を見える化する動線解析や窓口を導入した新システムを評価項目により数値化するなど、問題点を洗い出し、対策を講じ、更なる区民サービスの向上を図るべきでは。②DX2・0を推進

まどベンチの整備、中野三郵便局の復活などの要望を行ってきた。UR都市機構と締結した中野三丁目地区の整備に関する協定にある「利便性の向上及びにぎわいの創出のための拠点整備」という文言に基づいて区が交渉するのは、UR都市機構が、地権者である近鉄不動産か、②桃園通りの桃園広場に面した部分をカラー舗装して欲しいとの地域からの要望を検討しては。③UR都市機構と協議・調整を行う。④地域の意見を踏まえ検討していく。

安定した住まいの確保を 支援せよ

日本共産党議員団 いさ 哲郎



①住まいの支援について、区は住宅部門と福祉部門が連携した相談支援体制が必要との認識であったが、検討は進んでいるのか。②セーフティネット住宅、専用住宅ともに住宅確保要配慮者が住居を確保するための用をなしていない。実効的な政策として、家賃支援を検討すべきでは。③ひとり親家庭の住まい確保を経済的に支援するため補助事業を開始した

今後、事業展開をしていく中で福祉部門や住宅部門との連携を検討していく。②家賃助成ではなく、細やかな相談支援体制の推進やセーフティネット住宅の登録促進等による住宅確保要配慮者への住宅の供給促進に取り組んでいく。③DV相談でのシェルターへの連絡や連携はどうなっているのか。④さいたま市や杉並区では養育費の立て替え事業が開始されているが、区でも検討しては。⑤男女共同参画センターでの集約を見据え、女性の相談と対応の窓口を一本化する必要があるのでは。⑥シェルターへの入所を必要とする方に対し、速やかに、都や区が委託している事業者と連携し、入所同

雨水を自然の恵みにかえる 水害対策を

立憲・国民ネット・無所属議員団 細野 かよこ



今年3月に施設予約システムの区民アンケートを実施したが、どのような声があり、どのように対応するのか。⑦団体登録手続のシステム化やオンライン決済などを望む声、デジタルデバイス対応を行って欲しいとの意見があった。利便性の高いシステムの構築やデジタルデバイス対応を検討していく。

中野区で水害を防ぐには、各敷地にミニダムを作り、雨水を「貯める」「しみこませる」ことで、一気に下水道に流入させないことが肝要である。①都の流域対策等強化・推進事業補助金を活用し、「貯める」ために有効な雨水タンクの設置を推進してはどうか。②街路樹の育成、緑化・緑地化、レインガーデン、透水性舗装、緑溝など、「貯める」「しみこませる」を同時に高める多様なグリーンインフラのポテンシャルを高めてほしいと考えるがどうか。③都からの補助の活用も含め、補助メニューの一つに加えることを検討したい。④他自治体の事例等も参考にしつつ、中野のまちに適したグリーンインフラの取り組みを推進していきたい。

子どもの健康施策を問う

自由民主党議員団 山内 あきひろ



①子どもたちの健康な身体づくり等に寄与するため、健康診断などの個々のデータを関連付けし、新たな施策につなげていくべきと考えるが、区の見解は。②不登校児にもフリーステップルーム等を活用し、健康診断を受診できるようにしてはどうか。③乳幼児歯科健診や学校歯科健診に口腔機能発達不全症に関する質問を入れるべきではないか。④教育長 ①それぞれのデータを関連付けた活用方法については研究していく。②学校医以外で健康診断を受診する場合の対応については研究していく。③歯科医師会と意見

交換しながら検討していく。④介護職員向けの相談窓口を葛飾区では介護職員の就業環境の改善等を目的とし、カスタマーハラスメント窓口を設置した。中野区でも同様の相談窓口を設置すべきでは。⑤区長 東京都が相談窓口を設置しており、情報提供を行っている。⑥実践的な防災訓練を閉鎖管理中を含む区有施設において宿泊体験訓練等を実施してはどうか。⑦区長 関係機関と協議し、実施に向け調整していく。

①共働き家庭において、保育園の預かり時間と小学校の登校時間のギャップにより生じる「小1の壁」が課題だが、1時間近く前に校庭や体育館を開放する取り組みを進める自治体が増えてきており、保護者や児童に喜ばれていると聞く。子育て先進区として23区をけん引するために、早朝の校庭開放の方針を定め、来年度から実施してはどうか。②どんな子どもでも自分に合った学びができるように、区内に学びの多様な学校の設置を目指すべきと考える。設置に当たっては、名古屋市の例なども参考に、子どもたちにとって現状における最良の方法を検討すべきではないか。③各学校、家庭、地域の事情や実施体制等を考

若宮・大和町地域のまちづくりを問う ①拡幅工事の進む大和町中央通りの残地を活用したベンチ等の設置をかねてより求めてきたが、具体的にどの程度検討が進んでいるか。②明和中学校横の所有地は更地で、東京都にまた具体的な活用計画がないと聞く。そのため、中野区として暫定広場の目的

重症心身障がい児等の 通所事業所への財政的支援を

都民ファーストの会中野区議員団 黒沢 ゆか



デイサービス施設への施設整備を含めた財政的支援や誘致を、どう考えているのか。⑧区長 今後も、通所支援事業所の支援や誘致をしていく必要があると認識しており、他自治体の状況等の情報収集に努めていきたい。⑨生活介護事業の報酬改定後の運営状況把握と対策をせよ 国や都に対して、制度と現

場の狭間で起きている課題を伝え、必要な施策を区として提案するべきではないか。⑩区長 必要に応じて要望をしていきたい。⑪沿袋地域の商店街の道路用地の利用方法を明確にせよ 道路用地を活用したイベント等を実施したい場合、区の相談先はどこか。⑫区長 相談窓口は、まち

現状、自主保育を利用する保護者に向けて、補助が実施されていない。補助の対象を拡充すべきではないか。⑬区長 今後、区内の活動状況等、把握するよう努める。